

平成18年11月27日

阪神電気鉄道株式会社

「大阪四季劇場」の“第二弾”が『オペラ座の怪人』に決定しました

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市福島区、社長：坂井信也）が2004年11月に開業したハービスENT7階にある「大阪四季劇場」は、2005年1月から劇団四季による『マンマ・ミーア!』を公演していますが、2007年2月12日で千秋楽を迎え、次に続く第二弾として、世界中で高い人気を誇るミュージカル『オペラ座の怪人』を上演することが決定しました。

『オペラ座の怪人』は、2007年5月3日（祝・木）に開幕し、ロングラン公演で行われる予定です。

■公演に関するお問合せ先

劇団四季 関西公演本部 大阪オフィス TEL 06-4796-6600

以上

大阪四季劇場『オペラ座の怪人』公演概要

- ◇公演名 ミュージカル『オペラ座の怪人』
- ◇公演期間 2007年5月3日（祝・木）開幕（ロングラン公演）
- ◇会場 大阪四季劇場（ハービス エント7階/JR大阪駅徒歩5分）
- ◇料金 S席 11,550円/A席 9,450円/B席 6,300円/C席 3,150円（税込）
※ウィークデイマチネ公演
S席 10,500円/A席 8,400円/B席 5,250円/C席 2,100円（税込）
- ◇一般発売 2007年2月25日（日）発売開始【「四季の会」会員先行予約2月10日（土）】
- ◇主催 劇団四季/阪神電気鉄道
- ◇問合せ 劇団四季 関西公演本部 大阪オフィス 06-4796-6600

ストーリー

19世紀半ばのパリ・オペラ座。華麗な舞台の裏側では“オペラ座の怪人”の仕業とされる、謎めいた事件が続発していた。

コーラスガールのクリスティーヌは、プリマドンナのカルロッタの代役として舞台に立ち、見事に歌って喝采を浴びる。一夜にして名声を手に入れたクリスティーヌは偶然幼なじみのラウルと再開する。喜びもつかの間、楽屋の鏡の中から怪人が現れて、彼女を地底深く連れ去ってしまう。オペラ座の地下には神秘的な湖が広がり、怪人はクリスティーヌを隠れ家へと導く。怪人は彼女をプリマドンナに仕立て、自分の歌を歌わせたいと願っているのだ。劇場支配人たちは、カルロッタの機嫌を損ねることを恐れ「クリスティーヌを主役に」という怪人の要求を突っぱねてしまう。

オペラ初日、激怒した怪人が宣戦布告、恐ろしい事件が次々と起こる。大混乱を避けたラウルとクリスティーヌは、オペラ座の屋上で愛を確かめ合う。その光景を怪人が深い悲しみのまなざしで見つめていた。やがて舞台にもどったクリスティーヌの頭上で、不気味な笑いと共に巨大なシャンデリアが点滅し激しく揺れた。怒りを爆発させた怪人は――